

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】第15号
令和6年9月25日 文責：有内 弘

現地での学習を通して学ぶこと、そして振り返ること

【学校教育目標】

「主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成」 ～可能性を力に～

前期の終わりが近づいてきました。それぞれの学年、学級で前期のまとめに取り組んでいます。どの学年、どの学級でもいっしょけんめいがんばる子どもたちの姿を見ることができます。

夏休み明けの8月28日の全校集会で子どもたちへ、何事もいっしょけんめいがんばってほしい、そしてがんばる自分を自分で「いいぞ」「すごいぞ」とほめてください、がんばる友だちも応援してくださいと伝えました。

9月は前期のまとめの時期です。学習のまとめをしながら、いっしょけんめいがんばる子どもたちは、自己実現できる機会が増え、きっと伸びていきます。

また9月と10月は、6年生の修学旅行や5年生の集団宿泊教室、低・中学年で実施される移動教室など学校を離れ、現地で学ぶ機会があります。実際に見て、聞いて、感じて、時には質問して学ぶことは、子どもたちにとって貴重な体験です。学校に帰って現地学習を振り返り「まとめること」を通して、さらに学びを深めていきます。
★では、6年生の修学旅行を紹介します★

◆めざす子どもたちの学校での様子◆

【元気いっぱい】



2日目も元気いっぱい。班の人と協力して、自分たちで決めているようなアトラクションやブースを訪れていました。さあ次は？

修学旅行2日目はハウステンボス。班の人と協力して楽しい思い出をつくりました。

【温もりのある】



三瀬さんは講話の中で、平和とは何かをいっしょに考えてほしい、「平和は人類共通の世界遺産です。」と話されました。

子どもたちは三瀬さんの体験にもとづいた1つ1つの言葉を心でしっかりと受け止めていました。

修学旅行1日目。原爆資料館で三瀬清一朗さんから被爆体験の講話を聞かせていただきました。

【誇れる十夢の実現】



戦争の歴史を忘れないこと、二度と核兵器を使わないこと、くらしの中にあるおかしさを見つめ直していくこと、自分にできることから行動していくこと等を堂々と誓いました。

長崎平和祈念公園で、平和集会を行いました。平和への誓いを言葉で歌い、いっしょけんめい伝えました。

【書籍の紹介】ちょっと読んでみませんか！

題名 「この子を残して」
うとうとしていたら、いつの間に遊びから帰ってきたのか、カヤノが冷たいほほを私のほほにくっつけ、しばらくしてから、「ああ・・・お父さんのにおい・・・」
著者 永井 隆 発行所 サンパウロ